

賛助会員へのご入会・継続をお願いします

アール・ド・ヴィーヴルは、障がいのある人たちに「自分らしく生きる」場を提供し、アート活動を通じた社会参加を応援しています。そして彼らの社会的自立のため、活動による収入を得ることを目指しています。健常者も障がい者もなく共に生き、ひとりの人間として自分らしく自信を持って生きるきっかけを作ることが私たちのミッションです。

お一人でも多くの方にアール・ド・ヴィーヴルの趣旨へのご理解とご賛同をいただき、賛助会員として継続的に活動を見守っていただければ幸いです。

特典 毎年アール・ド・ヴィーヴルオリジナルカレンダーを進呈いたします。
また展覧会のご案内などのお知らせを折々にお届けいたします。
(賛助会費は税額控除対象にはなりませんのでご注意ください)



活動へのご寄付のご協力をお願いいたします

単発的なご寄付も歓迎します。社会福祉法人への寄付は税額控除の対象となります。



通所利用者さん募集中!

就労継続支援B型/生活介護の利用者さんを募集しています。



スタッフ募集中

笑顔が絶えない楽しい職場です。
要普通自動車免許
福祉の職場未経験者も可です。



アールグッズお取り扱い店舗

アール・ド・ヴィーヴル
Online SHOP



アール・ド・ヴィーヴル ギャラリーカフェ
小田原三の丸ホール観光交流センター |
カフェリーフ | 万葉の湯小田原館 |
よしのや | 生活彩家小田原市役所7F |
美容室 Mu | ミナカ小田原1階 逸品屋金次郎 |
鈴廣かまぼこの里ちりんちりん | 湯本 天成園 |
モダン湯治スタイル「おんり〜ゆ〜」 | ポーラ美術館



大好評!
大判ハンカチスカーフ

ご協力ありがとうございました

- 賛助会員(個人): 56名
- 賛助会員(法人)

(株)アークル / ASHIGARA HOUSE / (株)鮑屋 / (株)エスアールシー / 大田和公認会計士税理士事務所 / 岡宮産婦人科医院 / 小田原瓦斯(株) / (株)小田原百貨店 / 小田原箱根商工会議所 / (株)ういろう / (有)きくいち / (株)クニヨシ / けやき通り治療院 / (社)福)県西福祉会 / さがみ信用金庫 / サンネット(株) / izumi ジュエリーシマノ / (株)新宮川 / 至誠法律事務所 / 鈴廣かまぼこ(株) / (株)セトプリント / 曾根歯科医院 / (株)ティー・アイ・シー ミウラ / (株) T-FORESTRY / (株)東海ビルメンテナス / 中川食肉(株) / ニュートヨオート(株) / 花のコウノ / ヒューマンズ・ネット(株) / (医)平原眼科クリニック / (株)まるだい運輸倉庫 / 万葉倶楽部(株) / フロントピア1(株) / (株)ミクニ小田原事業所 / (同)スタジオパンド / (医)けやき会安間医院 / (医)横田小児科医院 / 他匿名1社

■ 寄附: (株)関東設備、(株)アークル、湘南電力(株)、Tokyo American Club、(株)森食品、鷺田悦子、青木理加、永昌院、浅田夏枝、その他匿名5名

社会福祉法人 アール・ド・ヴィーヴル

■ 理事: 萩原 美由紀・横田 俊一郎・中津川 浩章・牛山 恵子・ケリー 佳枝・渡真利 紘一 | 監事: 柴田 和生・小室 全由
■ 評議員: 鈴木 博品・高橋 剛司・市川 聡・栢沼 行雄・小倉 直子・田口 ランディ・鈴木 伸幸

〒250-0055 神奈川県小田原市久野 403-17 ■ TEL: 0465-25-4534 ■ FAX: 0465-25-1935

■ Email: info@artdevivre-odawara.jp ■ Web: https://artdevivre-odawara.jp

art de vivre NEWS LETTER 13号 編集・発行: 社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル 2026年3月1日発行

表紙絵: 奥津大希『孤独の戦士』 / ページ内の作品: アール・ド・ヴィーヴルのメンバー



NEWS LETTER Vol.13





We are OPEN!

アール・ド・ヴィーヴル ギャラリーカフェ



施設にカフェを併設したきっかけは、メンバーの「ケーキ作りをしたい」という声でした。メンバーの夢を叶える仕事場、また地域の方が障害のある人と特別ではないかたちで交わる場をつくりたいと願い、2020年ギャラリー併設のカフェが生まれました。車椅子の方が介助なしで入店できるスロープやバリアフリーのトイレもある「障害があっても一人で来られるギャラリーカフェ」です。

しかし、オープンの方はなんとコロナ禍の真っ最中。週2日午後だけオープンする幻のカフェ(笑)としてスタートし、2023年からはウィークディは毎日オープンしています。

さらに「平日いच्छれないお客様にも来ていただきたい」という声から上がり、2024年からは展覧会イベントに合わせた土日祝日の期間限定オープンもスタートしました。

カフェの存在は、絵の作者たちがカフェに関わる機会や、興味や可能性ややりがいを広げるきっかけを生み出します。自分たちの仕事が売上となり、工賃につながっていくことを実感することで、働くことへの意識も少しずつ育ってきました。

お客さまは、ご近所の方や子育て中のお母さん、遠方の方などさまざまです。意外なところでは、アールのメンバーも。誰の手も借りずアトリエから車椅子で一人でカフェに来てコーヒープレイクを楽しむ、そんな姿が見られたりもします。

社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル理事長 萩原美由紀



スズアコーヒーさん(小田原)の美味しいコーヒーパック。アールメンバーの作品と手書き文字をあしらっています



クッキーのカラフルなパッケージ。カレンダーの再利用。メンバーと一緒にカットし組み立てています

実は

パッケージコレクション

漁港の駅 TOTOCO 小田原・小田原シネマ館にて販売中!

パウンドケーキのフレーバーカラー目で見えるようにメンバーのレタリングでデザイン



Staff Message

カフェの仕事は接客、お菓子作り、パッケージング、給食の準備と片付け。これが毎日あります。ケーキの生地作りも、クッキー絞りも、カフェ勤務を希望して働いているみんなの抜群の集中力であつという間に覚えてテキパキと進めてくれます。

スタッフは見守り役。というより、私が新任の頃はみんなに教えてもらっていました。

企業様のイベント向けにお菓子のご注文をいただくことも増えました。今回はなんと100個ご依頼いただいたので、午前中パッケージ部隊が働いて出荷の準備をしました。そんなこともカフェの日常です。



「興味があるけど自分にはできない」と最初は手を出さない人もいますが、接客も調理もやってみると、みんなほとんどのことができるんです。いろんなことに挑戦してもっとパワーを出してほしいですね。(支援員・成田佐緒里さん)



パウンドケーキの生地作りは任せて! お父さんのお誕生日には家でスポンジケーキを焼こうと思っています。(アールメンバー・岩本七海さん)



午前にはイラストを描いて、午後はカフェで働いています。創作の仕事だけでなく、接客やキッチンなど社会での就労につながる経験ができてありがたいです。(アールメンバー・空乃さん)



カフェではメンバーが描いた絵画でスイーツを提供しています。お皿ごと購入して下さるお客様も。(お皿はショップで販売しています)



常連さんにお話をうかがいました



東京から引っ越してきてご近所在住。週に少なくとも2日はきて、勉強したり書き物をしたりしてます。何といてもコーヒーがおいしい。相当コーヒーにうさいい人が中に入らうね(笑)いつ来てもいい絵がみられて、みんなの気配も楽しませてもらってます。気持ちが明るくなる、お気に入りのカフェです。(田中さま)



第2回かながわともいきアート展 「生きること表現すること」

2025年11月1日(土)~9日(日) 横浜赤レンガ倉庫にて、障害者による120点の作品が一堂に会す神奈川県主催の展覧会「第2回かながわともいきアート展『生きること、表現すること』」が開催されました。総合ディレクターは第一回に続いて中津川浩章アートディレクター、萩原美由紀理事長も引き続き実行委員を務めました。

招待施設展として、県内9つの障害福祉サービス事業所の展示が行われました。アールはその1団体として、グッズ販売と共にさまざまなイベントを実施。アールメンバーの夏夢しのぶさんによる花文字アート実演コーナー、塚本愛実さんによる似顔絵コーナーも人気を博しました。



オープニングアクト
式町水晶さんのバイオリンに合わせてアールの奥津大希さんがライブペイント。式町さんの曲「孤独の戦士」をイメージした作品が完成しました。会場はオープニングにふさわしい温かな雰囲気に包まれました。

アップサイクルイベント
「みんなで大きな絵を描こう」
11月8日(株)柴橋商会さまご協力の元、廃棄シーツをキャンバスに2枚の大きな絵を描きました。参加者にはアールの作品をデザインしたアップサイクルエコバッグが贈られました。



小田原短期大学保育学科 コラボレーションワークショップ

ワークショップの動画
学生さんからのアンケート回答はこちらからどうぞ



「障害のある人々とともに生きる」をテーマに行われた小田原短期大学保育学科学生さんとのコラボレーションワークショップ。

2025年7月15日(火) 体育館で行った第1回ワークショップに続いて、第2回(2025年11月26日(水))と3回目(2025年12月10日(水))は、2年ゼミ生とアールメンバーが一つのチームになり、F50号(1m四方程度)のキャンパスの作品作りに挑戦。最初の頃は遠慮がちだった会話も、最終回には笑顔や自然なやり取りが増え、7つの作品が生まれました。

2026年1月14日(水)に行ったフィードバックの回では、「さまざまな描き方をアールのメンバーから教えてもらった」「一緒に描くを通して言葉以外の手段で意思疎通ができたと感じる」「作品ができあがったこと以上にその制作過程が楽しかった」などビュアな声が共有されました。また「こんな行動はどう理解したらいいのか」といった学生さんからの疑問も投げかけられました。最後は全体統括・中津川アートディレクターからのメッセージで締めくくられました。

「俯瞰してみると、障害がなくても苦手なことがあったり、できないことは山ほどあって、凸凹を補完しながら社会を作っている。障害と線引きするより、僕らよりもその凸凹がちよっと大きいだけ、とわかると、コミュニケーションはもうちょっといいものにできる。

自分や家族が病気になった時とかに、みんな「弱いものを抱えて生きている」ことに気づく。子供もそうだと思います。強いものやできることだけに眼差しを注ぐのではなく、できないことや弱いことに気持ちを注ぎながら、教育とか保育を形作っていくといいのではないかと、今回その実践がみなさんとしてみられて本当に良かったです。」(中津川浩章アートディレクター)



「障害のある人たちと絵を描いた」「楽しかった」だけに終わってしまわないように。テーマ設定からアールのアトリエ見学、中津川先生の講義、ワークショップ後のフィードバックの確保など、さまざまに学びの配慮をいただきました。授業や実習では「支援する」方法を学ぶ学生たちですが、「支援する/される」関係にとどまらない共同作業とコミュニケーションの体験が何かの種として残り、「次」につながるというなあと思っています。(保育学科 准教授 小倉直子)

主催：社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル
協力：小田原短期大学 助成：東京アメリカンクラブ

ワークショップで制作した作品は、2026年3月7日(土)~15日(日)小田原三の丸ホールで開催する「響きあうアート展」でご覧いただけます。

アートルース

アールの作品をお客さまの空間に合わせてコーディネートし、3ヶ月ごとにお届けする「アートルース」が11年目を迎えました。

2026年1月には横浜美術館の前にオープンした神奈川県予防医学協会さまに、メンバーと共に設置に伺わせていただきました。

オープニング内覧会では、多くの来場者が作品の前で足を止めてじっくり鑑賞している様子が見受けられました。普段目にすることの少ない原画の絵の具のタッチをまじまじと見ている方も。「どの絵も目につく惹かれる作品」「壁の色と絵がよく合っているがどうやって選んだのか」「次回来的时候にどんな絵になっているか楽しみ」などの声が寄せられています。良い空間となりました。(神奈川県予防医学協会さまより)

リースをご利用いただいているみなさま [50音順・敬称略]

Adyen Japan (株) / あすか治療院 / アルコニックス(株) / (株)鮑屋 / (株)イーエスエス / エーエル プラス(株) / 大谷社会保険労務士事務所 / (株)小田急箱根本社 / 小田急不動産(株)本社 / 小田原ガス(株)本社 / 小田原ガス(株)エコリア / 小田原市役所 / 小田原短期大学 / 小田原箱根商工会議所 / 神奈川県住宅供給公社 / 神奈川県予防医学協会 / カフェグリット / 共同冷蔵(株)本社 / 共同冷蔵(株)大井物流センター / 漁港の駅TOTOCO 小田原 / (株)クレスコ / さがみ信用金庫本店 / サンネット(株) / サンネット(株)東京本社 / CBRE インベストメントマネジメント・ジャパン(株) / 循環器中町クリニック / (株)鈴廣蒲鉾本店 / 整体半蔵 / DiningNICO / 中外製薬(株) / (株)ツー・ワン / つきま宮川本店 / 小田原店 / (株)東海ビルメンテナンス / 美容室MU / フロンティア1(株) / ふくらん / PuMBaA / (株)松岡東京 Central DC / (株)まるだい運輸倉庫 / (株)ミクニ小田原事業所 / 道の駅足柄・金太郎のふるさと / 医療法人みなとみらいクリニック / 横小小児科医院 / (株)横浜銀行小田原支店 / (株)横浜銀行本店 (2026年2月現在)



リースについて詳しくはこちらへ

アール・ド・ヴィーヴル ギャラリーカフェ企画展 「ザ★ヲ宝展」作者座談会



支援員 渡邊(以後W)：展覧会名、最初「オタクだよ全員集合」っていう案もあったんですね。
アングルス(以後ア)：みんなでそりゃさすがに(笑)ってなって、いろいろ考えました。描いたキャラクターたちは自分にとって子供のような分身のようなもので、自分の過去の経験とか、望みとか夢とかが詰まっている。そこから連想して「お宝」とキャラを合体して「ヲ宝(ヲタキャラ)」に。

—いいタイトル!メインビジュアルは憑雲さんですね。

憑雲(以後憑)：チラシになってびっくり。私の世界観自体って万人受けするものではないと思っているので。でも評価をもらったのは嬉しいです。

ア：全部色鉛筆で描かれてるんですよ、これ。実は僕、憑雲さんから作品買わせてもらって。今回展示に使われています。

—仲間同士で購入!他の人も、お互いの影響ってあったりしますか?

293(以後2)：私はアールに来るまでは人を描いてなかった。でも近くで描くのをみててしっかり作品の中に人物を描いてみたいと思うように。

桑原：私も師匠たち(ア・憑)を見ていて、自分で考えたキャラを描いてみようかなと。

ア：他の人のいいなと思う部分とか、もともと好きなものとかを全部入れて合体させてキャラクターが育まれる。そこからだんだんと自信が出て自分がでてる。やっぱり「ヲ宝」なんですね。

—心強いですね、一緒に描く仲間がいるって。(みんなしずかにココロうなづく)

アールのスタッフが企画から運営までメンバーと共に作るギャラリーカフェでの展覧会。
今回の展覧会の作者に集まって作品の裏側を語っていただきました★聞き手・ニューズレター編集部牛山

—今回の展示もみんなで作ったんですか?

W：天井から下がっているキラキラは何人かで手分けしてゴージャス感を出しました。真ん中の列柱(門)は支援員の三門さんが作ってくれたんです。
天夢：チラシの世界観が表現されていて、アールにきて「おおっ」ってびっくりしました。作品に添えてある黒い紙は、作者それぞれが文章を考えて書いた作品解説です。

—これから三の丸ホールでの展示もありますが、お客様にむけて一言お願いします。

2：オタクになろうぜ、でどう?(みんなうなづく)

憑：いろんなものを投げかけているから、何かしら好きなものが見つかるんじゃないかな。
ア：作品の感想を聞かせてもらえたらうれしいですね。



限定メニュー「お気持ちパロア」

いちごパロアの甘さ、ソースの酸っぱいところ、フレークのザクザクは乱れた心、繊細で複雑なおタクの気持ちや込められています。食べて察してください。(天夢)



アングルス



憑雲 美夜 つくも みや



293



桑原 育歩



天夢 梅花 あまゆめもか